

今できることを考える

大隅半島の4市5町で構成される岩手県大船渡市復興支援チームとして同市に派遣された職員と派遣予定の職員らが、5月26日（木）節電会議を開催しました。

現地で支援にあたった職員らは、被災地から帰町後、互いの経験談を話し合う中で、「今できることは何か」と考え実行したもので、電力不足が予想される夏場の節電対策について話し合いました。

翌日には、町長、副町長を交えて意見交換会を実施し、節電対策の取り組みについて協議しました。

6月1日の朝礼で、東靖弘町長が、「私たちが復興に向けて支援と協力できることのひとつが『節電』です。できることから取り組み東日本へ想いをとどけましょう。」と職員へ節電を呼びかけました。



△節電会議風景 「できることから」を合言葉に！

- エアコン使用時間の制限、温度管理の徹底
- パソコンのモニターの節電対策
- 冷蔵庫の使用制限
- 照明などのスイッチ周りに節電啓発のステッカーを貼る
- 各課で当番を決め電源タップの電源OFFの徹底
- 未使用又は使用頻度の低い箇所の蛍光灯を抜く
- 緑のカーテンの推進など

△今回、取り組む節電対策



△『プラウドジャパン運動』のロゴマーク入り節電ステッカーを制作しました。この運動は広報担当者有志が呼びかけ人となっている被災地へ『心の支援』を広げる運動です。電気やエアコンのスイッチ周りにステッカーを貼付し、節電に取り組みます。

東日本大震災に伴う省エネ対策第1弾

暑さをしのごーや大作戦

この作戦は、ゴーヤなどのつる性の植物を建物の外側に生育させることにより、建物の温度の上昇を抑制し、夏の暑さを町一丸となってしのごうというものです。

みなさんも緑のカーテンで省エネに取り組みませんか。

配布数 500セット【一世帯あたり1セット（3ポット）限り】
配布日時 平成23年6月22日（水）午後2時～（無くなり次第終了）
配布場所 役場保健センター裏、野方支所
配布物品 ゴーヤの苗、ネット
お問い合わせ先 住民環境課 環境係 ☎476-1111（128）